

プレスリリース

KDPOF 車載光ギガビット イーサネットが準拠、 日本の自動車産業法人が承認

KD1053 1000BASE-RHC 車載イーサネット PHY JASPAR の適合性試験に合格

東京、2019年2月12日— 一般社団法人 JASPAR (Japan Automotive Software Platform and Architecture) は、KDPOF の車載光ギガビットイーサネット技術が適合性試験に合格したと発表しました。 KDPOF は KD1053 により、IEEE® Std 802.3bv に準拠したプラスチック オプティカル ファイバー (POF) による転送速度 1Gb/s を実現し、車載向けに 1000BASE-RHC PHY を提供します。

JASPAR 次世代高速 LAN WG は、次のようにコメントしています。『KDPOF の光ネットワーク ソリューションは、車載ネットワークの速度を大幅に改善するうえ、低速なネットワークプロトコルに代えるものです。信号の高速化には、広い電磁スペクトラムを使用するため、自動車メーカーは電子部品に対してますます厳しい電磁放射制限を求めることとなります。』

光イーサネット技術は、電磁放射がないワイヤーハーネスであり、電磁環境両立性 (EMC) の技術要件を満たすので、将来の車載ネットワークインフラストラクチャにとって理想的なものです。』

2004 年に設立された JASPAR のミッションは、カーエレクトロニクス領域で将来直面する共通課題を特定し、その解決のための標準化活動に取り組み、自動車産業全体の公正な競争基盤の創造・開発の生産性向上と技術発展を促進することです。220 以上のメンバー企業には、トヨタ、ホンダ、日産、マツダ、デンソー等の世界的に活躍する自動車メーカーや Tier1 サプライヤーが含まれます。

包括的 EMC テスト

様々な Tier1 および Tier2 自動車メーカーが、JASPAR と連携して KDPOF の KD1053 開発ボードのテストを実施しました。幅広い種類のテストには、EMC エミッションおよびイミュニティテストの他、現在の ISO 21111-4 CD に準拠した標準車載 POF および光学コネクタの極限温度テストも含まれています。EMC の試験は、放射および伝導ノイズ試験 (電圧、電流)、BCI 試験、放射 RF イミュニティ、携帯送信機イミュニティが含まれています。さらに、静電気放電 (ESD) および過渡パルス電圧に

プレスリリース

関するテストも実施されました。KD1053 ソリューションは、全てのテスト基準において優れた結果を出しました。

車載イノベーション ロードマップ

『今後も JASPAR は、これまでの活動成果の維持・発展に加え、新しい協調領域を手がける会員企業の迅速な意見集約・意思決定を通じて、カーエレクトロニクス技術についての標準化活動を行っていきます。』と JASPAR 次世代高速 LAN WG はコメントしています。

ワード数: 979

画像



JASPAR が KDPOF の車載光学ギガビット イーサネット KD1053 の準拠を承認

著作権: KDPOF

ダウンロード: <http://www.ahlendorf-news.com/media/news/images/KDPOF-JASPAR-H.jpg>

JASPAR とは

日本の自動車産業市場に焦点を置き、高度化、複雑化する電子制御システムのソフトウェアや車載ネットワークの標準化および共通利用により、開発を効率化し、信頼性を確保するために JASPAR は設立されました。自動車メーカー、大学および研究機関、ソフトウェア開発、電装品メーカー、半導体メーカー等、様々な企業のエンジニア スタッフが、JASPAR の活動に参加しています。詳細は、次のリンクにてご覧ください：
www.jaspar.jp/en/about_us